



令和3年5月28日

各位

会社名 株式会社 コンセック  
代表者名 代表取締役会長 佐々木 秀隆  
(コード番号：9895)  
問合せ先 取締役管理本部長 寺本 泰之  
(電話 082-277-5451)  
(URL <http://www.consec.co.jp>)

(訂正・数値データ訂正)「令和3年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

令和3年5月14日に公表いたしました「令和3年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」について、一部訂正がありましたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、数値データにも訂正がありましたので、訂正後の数値データも送信します。

記

I. 訂正の理由

「令和3年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の提出後に、記載内容の一部に誤りがある事が判明しましたので、これを訂正します。

II. 訂正の内容

訂正箇所は\_\_\_\_\_線を付して表示しております。

サマリー情報

【訂正前】

1. 令和3年3月期の連結業績(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
3年3月期	9,844	△8.5	107	△49.7	173	△37.0	<u>85</u>	<u>△30.5</u>
2年3月期	10,758	7.6	212	157.3	275	74.1	123	—

(注) 包括利益 3年3月期 268百万円(-%) 2年3月期 9百万円(-%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
3年3月期	<u>47.49</u>	—	<u>1.2</u>	1.5	1.1
2年3月期	68.36	—	1.7	2.4	2.0

(参考) 持分法投資損益 3年3月期 1百万円 2年3月期 0百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
3年3月期	11,735	<u>7,645</u>	<u>63.9</u>	<u>4,180.28</u>
2年3月期	11,406	7,420	63.9	4,061.67

(参考) 自己資本 3年3月期 7,498百万円 2年3月期 7,285百万円

(中略)

3. 令和4年3月期の連結業績予想(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,820	1.4	△15	—	10	—	△20	—	△11.15
通期	10,100	2.6	158	48.0	213	23.2	123	44.4	68.57

(中略)

(参考)個別業績の概要

1. 令和3年3月期の個別業績(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

(1)個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
3年3月期	7,938	△8.5	64	△27.3	125	△35.4	78	△10.8
2年3月期	8,676	11.7	88	—	193	—	87	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
3年3月期	43.49	—
2年3月期	48.76	—

(2)個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
3年3月期	10,129	7,077	69.9	3,945.69
2年3月期	10,012	6,996	69.9	3,900.16

(参考)自己資本 3年3月期 7,077百万円 2年3月期 6,996百万円

2. 令和4年3月期の個別業績予想(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,800	0.5	27	404.6	6	—	3.35
通期	7,980	0.5	145	16.4	84	7.7	46.83

(後略)

【訂正後】

1. 令和3年3月期の連結業績(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

(1)連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
3年3月期	9,844	△8.5	107	△49.7	173	△37.0	71	△42.0
2年3月期	10,758	7.6	212	157.3	275	74.1	123	—

(注)包括利益 3年3月期 254百万円(—%) 2年3月期 9百万円(—%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
3年3月期	<u>39.63</u>	—	<u>1.0</u>	1.5	1.1
2年3月期	68.36	—	1.7	2.4	2.0

(参考)持分法投資損益 3年3月期 1百万円 2年3月期 0百万円

(2)連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
3年3月期	11,735	<u>7,631</u>	<u>63.8</u>	<u>4,172.42</u>
2年3月期	11,406	7,420	63.9	4,061.67

(参考)自己資本 3年3月期 7,484百万円 2年3月期 7,285百万円

(中略)

3. 令和4年3月期の連結業績予想(令和3年4月1日~令和4年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,820	1.4	△15	—	10	—	△20	—	△11.15
通期	10,100	2.6	158	48.0	213	23.2	123	<u>73.0</u>	68.57

(中略)

(参考)個別業績の概要

1. 令和3年3月期の個別業績(令和2年4月1日~令和3年3月31日)

(1)個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
3年3月期	7,938	△8.5	64	△27.3	125	△35.4	<u>64</u>	<u>△26.9</u>
2年3月期	8,676	11.7	88	—	193	—	87	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
3年3月期	<u>35.63</u>	—
2年3月期	48.76	—

(2)個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
3年3月期	<u>10,130</u>	<u>7,063</u>	<u>69.7</u>	<u>3,937.83</u>
2年3月期	10,012	6,996	69.9	3,900.16

(参考)自己資本 3年3月期 7,063百万円 2年3月期 6,996百万円

2. 令和4年3月期の個別業績予想(令和3年4月1日~令和4年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,800	0.5	27	404.6	6	—	3.35
通期	7,980	0.5	145	16.4	84	<u>31.4</u>	46.83

(後略)

(添付資料 2 ページ)

【訂正前】

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、観光関連業種等には大変厳しい状況が続いてきました。一方、一部には緊急事態宣言による感染縮小を受け企業収益の持ち直しも見られましたが、再度の感染拡大により先行きの不透明感が増してまいりました。

当社グループが主として属する土木建設業界におきましては、公共投資は一部に延期、中止も見受けられましたが、堅調に推移してまいりました。しかしながら民間の建設関連、工場設備関連の投資等はコロナ禍の影響により先送りや中止の動きがみられ厳しい状況が続きました。

このような環境の中、当社グループは各事業分野の特長を活かし、新型コロナウイルス感染症対策に注力しながら、お客様のニーズに積極的に対応し、お客様への提案営業を重点的に行い、お客様開拓に注力してまいりました。

この結果、当連結会計年度の売上高は98億44百万円（前連結会計年度比8.5%減）となりました。営業利益は1億7百万円（前連結会計年度比49.7%減）、経常利益は1億73百万円（前連結会計年度比37.0%減）となりました。特別利益として投資有価証券売却益など18百万円（前連結会計年度は投資有価証券売却益など41百万円）、また、特別損失として投資有価証券評価損など17百万円（前連結会計年度は減損損失37百万円、投資有価証券評価損25百万円など64百万円）を計上したため、親会社株主に帰属する当期純利益は、**85百万円**（前連結会計年度比**30.5%減**）となりました。セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。（セグメント間の内部売上高は含めておりません。）

（後略）

【訂正後】

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、観光関連業種等には大変厳しい状況が続いてきました。一方、一部には緊急事態宣言による感染縮小を受け企業収益の持ち直しも見られましたが、再度の感染拡大により先行きの不透明感が増してまいりました。

当社グループが主として属する土木建設業界におきましては、公共投資は一部に延期、中止も見受けられましたが、堅調に推移してまいりました。しかしながら民間の建設関連、工場設備関連の投資等はコロナ禍の影響により先送りや中止の動きがみられ厳しい状況が続きました。

このような環境の中、当社グループは各事業分野の特長を活かし、新型コロナウイルス感染症対策に注力しながら、お客様のニーズに積極的に対応し、お客様への提案営業を重点的に行い、お客様開拓に注力してまいりました。

この結果、当連結会計年度の売上高は98億44百万円（前連結会計年度比8.5%減）となりました。営業利益は1億7百万円（前連結会計年度比49.7%減）、経常利益は1億73百万円（前連結会計年度比37.0%減）となりました。特別利益として投資有価証券売却益など18百万円（前連結会計年度は投資有価証券売却益など41百万円）、また、特別損失として投資有価証券評価損など**21百万円**（前連結会計年度は減損損失37百万円、投資有価証券評価損25百万円など64百万円）を計上したため、親会社株主に帰属する当期純利益は、**71百万円**（前連結会計年度比**42.0%減**）となりました。セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。（セグメント間の内部売上高は含めておりません。）

（後略）

(添付資料 3 ページ)

【訂正前】

(2) 当期の財政状態の概況

資産、負債及び純資産の状況

（資産）

流動資産は、前連結会計年度に比べて、2億9百万円増加し、54億79百万円となりました。主な要因として、現金及び預金の増加4億14百万円、「受取手形及び売掛金」及び「電子記録債権」の減少1億36百万円、たな卸資産の減少68百万円などによるものであります。

有形固定資産は、前連結会計年度に比べて、49百万円減少し、49億45百万円となりました。主な要因は、取得84百万円に対し、減価償却費1億35百万円などによるものであります。無形固定資産は、前連結会計年度に比べて、5百万円減少し、41百万円となりました。主な要因は、のれんの償却5百万円などによるものであります。投資その他の資産は、前連結会計年度に比べて、**1億74百万円**増加し、**12億69百万円**となりました。主な要因として、投資有価証券が1億19百万円、退職給付に係る資産が1億50百万円増加したのに対し、繰延税金資産が78百万円減少したことなどによるものであります。固定資産合計は、前連結会計年度に比べて、**1億20百万円**増加し、**62億56百万円**となりました。

この結果、総資産は、前連結会計年度に比べて3億29百万円増の117億35百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度に比べて、**85百万円**減少し、**26億96百万円**となりました。主な要因として、「支払手形及び買掛金」及び「電子記録債務」の減少34百万円、未払法人税等の減少**68百万円**などによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度に比べて、1億88百万円増加し、13億93百万円となりました。これは主に、長期借入金の増加1億83百万円などによるものであります。なお、長期借入金、短期借入金は合わせて、1億79百万円増加しました。

この結果、負債合計は、前連結会計年度に比べて**1億3百万円**増の**40億89百万円**となりました。

(純資産)

純資産合計は、**76億45百万円**と前連結会計年度に比べて、**2億26百万円**増加しました。

株主資本は、利益剰余金が親会社株主に帰属する当期純利益**85百万円**、配当金の支払45百万円により、**40百万円**増加し、**7億47百万円**となり、株主資本合計で**40百万円**増加し、**73億64百万円**となりました。

その他の包括利益累計額は、その他有価証券評価差額金が51百万円、為替換算調整勘定が6百万円、退職給付に係る調整累計額が1億16百万円増加し、合計で前連結会計年度に比べて、1億72百万円増加し、1億34百万円となりました。

非支配株主持分は13百万円増加し、1億47百万円となりました。

## 【訂正後】

(2) 当期の財政状態の概況

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

流動資産は、前連結会計年度に比べて、2億9百万円増加し、54億79百万円となりました。主な要因として、現金及び預金の増加4億14百万円、「受取手形及び売掛金」及び「電子記録債権」の減少1億36百万円、たな卸資産の減少68百万円などによるものであります。

有形固定資産は、前連結会計年度に比べて、49百万円減少し、49億45百万円となりました。主な要因は、取得84百万円に対し、減価償却費1億35百万円などによるものであります。無形固定資産は、前連結会計年度に比べて、5百万円減少し、41百万円となりました。主な要因は、のれんの償却5百万円などによるものであります。投資その他の資産は、前連結会計年度に比べて、**1億75百万円**増加し、**12億70百万円**となりました。主な要因として、投資有価証券が1億19百万円、退職給付に係る資産が1億50百万円増加したのに対し、繰延税金資産が78百万円減少したことなどによるものであります。固定資産合計は、前連結会計年度に比べて、**1億21百万円**増加し、**62億57百万円**となりました。

この結果、総資産は、前連結会計年度に比べて3億29百万円増の117億35百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度に比べて、**70百万円**減少し、**27億11百万円**となりました。主な要因として、「支払手形及び買掛金」及び「電子記録債務」の減少34百万円、未払法人税等の減少**53百万円**などによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度に比べて、1億88百万円増加し、13億93百万円となりました。これは主に、長期借入金の増加1億83百万円などによるものであります。なお、長期借入金、短期借入金は合わせて、1億79百万円増加しました。

この結果、負債合計は、前連結会計年度に比べて**1億18百万円**増の**41億4百万円**となりました。

(純資産)

純資産合計は、**76億31百万円**と前連結会計年度に比べて、**2億11百万円**増加しました。

株主資本は、利益剰余金が親会社株主に帰属する当期純利益**71百万円**、配当金の支払45百万円により、**26百万円**増加し、**7億33百万円**となり、株主資本合計で**26百万円**増加し、**73億50百万円**となりました。

その他の包括利益累計額は、その他有価証券評価差額金が51百万円、為替換算調整勘定が6百万円、退職給付に係る調整累計額が1億16百万円増加し、合計で前連結会計年度に比べて、1億72百万円増加し、1億34百万円となりました。

非支配株主持分は13百万円増加し、1億47百万円となりました。

(添付資料 4 ページ)

【訂正前】

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

(中略)

なお、当社グループのキャッシュ・フロー関連指標のトレンドは次のとおりです。

	平成31年3月期	令和2年3月期	令和3年3月期
自己資本比率 (%) (自己資本/総資産)	61.6	63.9	<b>63.9</b>
時価ベースの自己資本比率 (%) (株式時価総額/総資産)	21.1	18.9	19.0
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年) (有利子負債/営業キャッシュ・フロー)	4.4	—	3.3
インタレスト・カバレッジ・レシオ (営業キャッシュ・フロー/利払い)	50.3	—	103.6

(後略)

【訂正後】

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

(中略)

なお、当社グループのキャッシュ・フロー関連指標のトレンドは次のとおりです。

	平成31年3月期	令和2年3月期	令和3年3月期
自己資本比率 (%) (自己資本/総資産)	61.6	63.9	<b>63.8</b>
時価ベースの自己資本比率 (%) (株式時価総額/総資産)	21.1	18.9	19.0
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年) (有利子負債/営業キャッシュ・フロー)	4.4	—	3.3
インタレスト・カバレッジ・レシオ (営業キャッシュ・フロー/利払い)	50.3	—	103.6

(後略)

(添付資料 8 ページ)

【訂正前】

4. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和2年3月31日)	当連結会計年度 (令和3年3月31日)
(中略)		
投資その他の資産		
投資有価証券	583,144	701,964
繰延税金資産	160,451	<b>82,034</b>
退職給付に係る資産	67,202	217,183
その他	298,636	276,549
貸倒引当金	△14,370	△8,548
投資その他の資産合計	1,095,063	<b>1,269,182</b>
固定資産合計	6,135,936	<b>6,256,021</b>
資産合計	11,405,724	<b>11,734,615</b>

## 【訂正後】

## 4. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和2年3月31日)	当連結会計年度 (令和3年3月31日)
(中略)		
投資その他の資産		
投資有価証券	583,144	701,964
繰延税金資産	160,451	<b>82,558</b>
退職給付に係る資産	67,202	217,183
その他	298,636	276,549
貸倒引当金	△14,370	△8,548
投資その他の資産合計	1,095,063	<b>1,269,705</b>
固定資産合計	6,135,936	<b>6,256,544</b>
資産合計	11,405,724	<b>11,735,139</b>

(添付資料9ページ)

## 【訂正前】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和2年3月31日)	当連結会計年度 (令和3年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,275,785	1,142,304
電子記録債務	554,067	653,281
短期借入金	537,276	532,932
未払法人税等	104,651	<b>36,709</b>
賞与引当金	95,835	94,074
完成工事補償引当金	241	200
その他	213,003	236,396
流動負債合計	2,780,857	<b>2,695,897</b>
固定負債		
長期借入金	639,147	822,194
役員退職慰労引当金	117,600	133,662
退職給付に係る負債	404,067	387,059
その他	44,375	50,533
固定負債合計	1,205,190	1,393,448
負債合計	3,986,047	<b>4,089,345</b>
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,090,270	4,090,270
資本剰余金	2,629,074	2,629,074
利益剰余金	707,077	<b>747,421</b>
自己株式	△102,570	△102,594
株主資本合計	7,323,851	<b>7,364,171</b>
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△6,415	44,282
為替換算調整勘定	39,222	45,021
退職給付に係る調整累計額	△71,301	44,550
その他の包括利益累計額合計	△38,495	133,853
非支配株主持分	134,320	147,246
純資産合計	7,419,677	<b>7,645,270</b>
負債純資産合計	11,405,724	<b>11,734,615</b>

【訂正後】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和2年3月31日)	当連結会計年度 (令和3年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,275,785	1,142,304
電子記録債務	554,067	653,281
短期借入金	537,276	532,932
未払法人税等	104,651	<b>51,331</b>
賞与引当金	95,835	94,074
完成工事補償引当金	241	200
その他	213,003	236,396
流動負債合計	2,780,857	<b>2,710,519</b>
固定負債		
長期借入金	639,147	822,194
役員退職慰労引当金	117,600	133,662
退職給付に係る負債	404,067	387,059
その他	44,375	50,533
固定負債合計	1,205,190	1,393,448
負債合計	3,986,047	<b>4,103,967</b>
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,090,270	4,090,270
資本剰余金	2,629,074	2,629,074
利益剰余金	707,077	<b>733,323</b>
自己株式	△102,570	△102,594
株主資本合計	7,323,851	<b>7,350,073</b>
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△6,415	44,282
為替換算調整勘定	39,222	45,021
退職給付に係る調整累計額	△71,301	44,550
その他の包括利益累計額合計	△38,495	133,853
非支配株主持分	134,320	147,246
純資産合計	7,419,677	<b>7,631,172</b>
負債純資産合計	11,405,724	<b>11,735,139</b>

(添付資料10ページ)

【訂正前】

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成31年4月1日 至 令和2年3月31日)	当連結会計年度 (自 令和2年4月1日 至 令和3年3月31日)
(中略)		
税金等調整前当期純利益	252,331	170,078
法人税、住民税及び事業税	115,496	<b>70,673</b>
法人税等調整額	1,662	<b>6,482</b>
法人税等合計	117,158	<b>77,155</b>
当期純利益	135,173	<b>92,923</b>
非支配株主に帰属する当期純利益	12,544	7,737
親会社株主に帰属する当期純利益	122,629	<b>85,187</b>



## (連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度	当連結会計年度
	(自 平成31年4月1日 至 令和2年3月31日)	(自 令和2年4月1日 至 令和3年3月31日)
当期純利益	135,173	<b>92,923</b>
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△87,914	51,546
為替換算調整勘定	△19,188	7,403
退職給付に係る調整額	△19,264	115,851
その他の包括利益合計	△126,367	174,799
包括利益	8,806	<b>267,723</b>
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	753	<b>257,534</b>
非支配株主に係る包括利益	8,053	10,188

## 【訂正後】

## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## (連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度	当連結会計年度
	(自 平成31年4月1日 至 令和2年3月31日)	(自 令和2年4月1日 至 令和3年3月31日)
(中略)		
税金等調整前当期純利益	252,331	170,078
法人税、住民税及び事業税	115,496	<b>85,294</b>
法人税等調整額	1,662	<b>5,959</b>
法人税等合計	117,158	<b>91,253</b>
当期純利益	135,173	<b>78,825</b>
非支配株主に帰属する当期純利益	12,544	7,737
親会社株主に帰属する当期純利益	122,629	<b>71,088</b>

## (連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度	当連結会計年度
	(自 平成31年4月1日 至 令和2年3月31日)	(自 令和2年4月1日 至 令和3年3月31日)
当期純利益	135,173	<b>78,825</b>
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△87,914	51,546
為替換算調整勘定	△19,188	7,403
退職給付に係る調整額	△19,264	115,851
その他の包括利益合計	△126,367	174,799
包括利益	8,806	<b>253,624</b>
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	753	<b>243,436</b>
非支配株主に係る包括利益	8,053	10,188

(添付資料 1 2 ページ)

【訂正前】

当連結会計年度（自令和 2 年 4 月 1 日 至令和 3 年 3 月 31 日）

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	4,090,270	2,629,074	707,077	△102,570	7,323,851
当期変動額					
剰余金の配当			△44,842		△44,842
親会社株主に帰属する 当期純利益			<b>85,187</b>		<b>85,187</b>
自己株式の取得				△24	△24
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）					—
当期変動額合計	—	—	<b>40,345</b>	△24	<b>40,320</b>
当期末残高	4,090,270	2,629,074	<b>747,421</b>	△102,594	<b>7,364,171</b>

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利 益累計額合計		
当期首残高	△6,415	39,222	△71,301	△38,495	134,320	7,419,677
当期変動額						
剰余金の配当						△44,842
親会社株主に帰属する 当期純利益						<b>85,187</b>
自己株式の取得						△24
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）	50,697	5,800	115,851	172,348	12,926	185,273
当期変動額合計	50,697	5,800	115,851	172,348	12,926	<b>225,594</b>
当期末残高	44,282	45,021	44,550	133,853	147,246	<b>7,645,270</b>

【訂正後】

当連結会計年度（自令和 2 年 4 月 1 日 至令和 3 年 3 月 31 日）

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	4,090,270	2,629,074	707,077	△102,570	7,323,851
当期変動額					
剰余金の配当			△44,842		△44,842
親会社株主に帰属する 当期純利益			<b>71,088</b>		<b>71,088</b>
自己株式の取得				△24	△24
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）					—
当期変動額合計	—	—	<b>26,246</b>	△24	<b>26,222</b>
当期末残高	4,090,270	2,629,074	<b>733,323</b>	△102,594	<b>7,350,073</b>

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利 益累計額合計		
当期首残高	△6,415	39,222	△71,301	△38,495	134,320	7,419,677
当期変動額						
剰余金の配当						△44,842
親会社株主に帰属する 当期純利益						<b>71,088</b>
自己株式の取得						△24
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）	50,697	5,800	115,851	172,348	12,926	185,273
当期変動額合計	50,697	5,800	115,851	172,348	12,926	<b>211,496</b>
当期末残高	44,282	45,021	44,550	133,853	147,246	<b>7,631,172</b>

(添付資料18ページ)

【訂正前】

4. 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(中略)

(単位：千円)

資 産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	9,941,598	9,939,683
全社資産（注）	1,464,126	<b>1,794,932</b>
連結財務諸表の資産合計	11,405,724	<b>11,734,615</b>

(後略)

【訂正後】

4. 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(中略)

(単位：千円)

資 産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	9,941,598	9,939,683
全社資産（注）	1,464,126	<b>1,795,456</b>
連結財務諸表の資産合計	11,405,724	<b>11,735,139</b>

(後略)

(添付資料 2 1 ページ)

【訂正前】

(1株当たり情報)

項目	前連結会計年度 (自 平成31年4月1日 至 令和2年3月31日)	当連結会計年度 (自 令和2年4月1日 至 令和3年3月31日)
1株当たり純資産額	4,061円 67銭	<u>4,180円 28銭</u>
1株当たり当期純利益	68円 36銭	<u>47円 49銭</u>

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。  
2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 平成31年4月1日 至 令和2年3月31日)	当連結会計年度 (自 令和2年4月1日 至 令和3年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	122,629	<u>85,187</u>
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益 (千円)	122,629	<u>85,187</u>
普通株式の期中平均株式数 (千株)	1,794	1,794
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後 1株当たり当期純利益の算定に含めなかった 潜在株式の概要	—	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

【訂正後】

(1株当たり情報)

項目	前連結会計年度 (自 平成31年4月1日 至 令和2年3月31日)	当連結会計年度 (自 令和2年4月1日 至 令和3年3月31日)
1株当たり純資産額	4,061円 67銭	<u>4,172円 42銭</u>
1株当たり当期純利益	68円 36銭	<u>39円 63銭</u>

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。  
2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 平成31年4月1日 至 令和2年3月31日)	当連結会計年度 (自 令和2年4月1日 至 令和3年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	122,629	<u>71,088</u>
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益 (千円)	122,629	<u>71,088</u>
普通株式の期中平均株式数 (千株)	1,794	1,794
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後 1株当たり当期純利益の算定に含めなかった 潜在株式の概要	—	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

以 上